

様式 4

平成 27 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 27 年 11 月 13 日

学 長 殿

所属部局・職名

うつくしまふくしま未来支援センター
農環境復興支援部門長

申 請 者 名 塚田 祥文

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員 <u>その他の特別事業</u>)
事業名	シンポジウム「ふくしまの食品・農業・環境の未来を創る」
事業実施期間	平成 27 年 10 月 28 日 ～ 平成 27 年 10 月 28 日
成果の概要	<p>福島大学うつくしまふくしま支援センター主催によるシンポジウム「ふくしまの食品・農業・環境の未来を創る」を開催した。本シンポジウムは、農・環境復興支援部門が、2011 年からこれまでに取り組んできた農業への支援と環境における放射性セシウム等の調査結果について報告し、福島における今後の生活の復旧、農業の発展と再開に向け有用な情報を広く提供することを目的とした。</p> <p>【概要】</p> <ol style="list-style-type: none">日時：平成 27 年 10 月 28 日（水）13:00～17:00会場：コラッセふくしま多目的ホール主催：福島大学うつくしまふくしま支援センター後援：福島県、農研機構東北農業研究センター、 地産地消運動促進ふくしま協同組合協議会参加人数：約 90 名 (地域住民・農業者・農業関係機関職員) <p>各報告においては、農業経済と農業環境の側面、農作物中放射性物質の実態、帰還困難区域等における放射線や放射性物質の変遷等について解説した。また、福島大学としてこれから取り組むべき、営農再開地域や帰還困難区域における農業の課題、普及啓発のあり方等について提言した。会場では、幅広い聴衆から質問・大学への研究要望等の発言があり、最新の研究成果についての双方向のコミュニケーションによって農作物の安全性に関する深い理解を得た。</p>

